特　産　品

経済産業大臣から「伝統的工芸品」として以下の10品目が、また「石川県伝統的工芸品」として和紙、美川仏壇、桐工芸、檜細工、珠洲焼、加賀毛針の６品目が指定されています。このほか本県の特産品として、大樋焼、加賀象嵌、郷土玩具等の工芸品、銘菓、郷土料理などがあります。

伝　統　的　工　芸　品　一　覧

項目		年度	企業数	従業者数	生産額	資料
				人	百万円	
九谷焼	さまざまな色絵装飾（上絵付）に特徴があり、五彩（緑・黄・赤・紫・紺青）が使われ、最後に金や銀が使われることもある。時代や窯によって作風が異なる。	平成26年度	252	822	4,652	石川県九谷陶磁器商工業協同組合連合会
		平成27年度	252	825	4,885	
		平成28年度	249	823	4,830	
山中漆器	ろくろを使った挽物技術が特色で、その手法は数十種に及ぶ。豪華な高蒔絵を施した茶道具、特に棗の制作には定評がある。	平成26年度	295	1,400	9,700	山中漆器連合協同組合
		平成27年度	282	1,350	9,800	
		平成28年度	270	1,300	9,600	
輪島塗	堅牢な塗りと加飾の優美さを特徴とし、日本を代表する漆器として高く評価されている。	平成26年度	521	1,387	3,900	輪島漆器商工業協同組合
		平成27年度	517	1,377	4,200	
		平成28年度	515	1,375	4,200	
加賀友禅	写実的な草花模様を中心とした絵画調の柄で、多彩で濃い色調と三色ぼかしの表現や友禅五彩（臙脂、藍、黄土、草、古代紫）が使われている。	平成26年度	207	540	3,047	協同組合加賀染振興協会
		平成27年度	196	510	2,831	
		平成28年度	193	500	2,809	
金沢仏壇	加賀蒔絵の伝統を受けた上品な蒔絵の美しさと耐久性が最大の特色で、豪華な仕上がりは美術工芸品の風格を兼ね備えている。	平成26年度	35	92	200	金沢仏壇商工業協同組合
		平成27年度	34	90	180	
		平成28年度	32	87	180	
七尾仏壇	精密な彫刻、中でも竹ヒゴではめ合わせた眼鏡障子は独特で、蒔絵の肉盛りはすべて錆上げであわびの青貝を使用している。	平成26年度	26	85	450	七尾仏壇協同組合
		平成27年度	26	85	450	
		平成28年度	25	80	400	
金沢箔	金の地金を１万分の４ミリ以下の厚さまで均一に広げる技術は、他の追随を許さず、全国生産の99％以上を占めている。	平成26年度	97	685	2,680	石川県箔商工業協同組合
		平成27年度	94	677	2,766	
		平成28年度	92	667	2,732	
金沢漆器	室内調度品、茶道具などの一品制作が特徴である。加賀蒔絵に螺鈿・平文・卵殻などの技法も使われている。	平成26年度	20	49	100	金沢漆器商工業協同組合
		平成27年度	20	49	110	
		平成28年度	20	49	110	
牛首紬（うしくびつむぎ）	太く節のある絹糸で織るため、野趣に富んだ素朴な美しさを持ち、独特の味わいがある。別名「釘抜紬」と呼ばれるほど丈夫である。	平成26年度	5	71	253	石川県牛首紬生産振興協同組合
		平成27年度	5	69	202	
		平成28年度	5	70	140	
加賀繍（かがぬい）	模様染の加飾として始まったため、刺し繍や肉入れ繍などぼかしや立体感のある技法が発達し、豪華で繊細な表現が特色である。	平成26年度	4	35	7	石川県加賀刺繍協同組合
		平成27年度	4	35	7	
		平成28年度	4	39	13	

資料　石川県経営支援課伝統産業振興室